

2023.09
SEPTEMBER
No.19

高知大学医学部附属病院広報誌
隔月刊【おらんくの大学病院】

RANK

「医師つぽくない」と言われたら
それが最大の褒め言葉。

四国初「ロボット支援下肝切除術」執刀医の素顔とこだわり
消化器外科 教授

瀬尾 智

四国初ロボット支援手術認定プロクター【食道領域】
消化器外科／手術部 講師

北川 博之

RANK 2023.09 SEPTEMBER No.19

高知大学医学部附属病院広報誌
隔月刊【おらんくの大学病院】

【発行日】2023年9月30日

【発行】高知大学医学部附属病院 広報係 〒783-8505 高知県南国市岡豊町小蓮 Tel.088-880-2723



高知大学医学部附属病院



<http://www.kochi-u.ac.jp/kms/hsptl/index.html>

ブラックジャックが 外科医 瀬尾智の 生みの親!?

瀬尾先生が
医師を志すきっかけは、
何だったのですか。

理由は二つあるんです。身に
に医師がいなかったため、その健
康管理をしたかったのと、高校
時代に手塚治虫の「ブラック
ジャック」を見て外科医に憧れ
たからです。ですから厳密に言
うと、医者でなく外科医を志し
たということに。

先生の仰る
ブラックジャック像とは。

常に冷静沉着で高みを目指す
あきらめない人間です。僕が常
に言っている「決して諦めない」
の真意はそこに根ざしているん
です。それでも感情が乱れるこ
ともあるし、「これは無理かも」
と弱気になる瞬間もある。ブ
ラックジャックはどんな時でも
声を荒げず常にさざ波のように
行動できるのです。

京都大学、大阪赤十字病院など
さまざまな病院を経て
高知大学にいられて、
苦勞をされていることなど
ありますか。

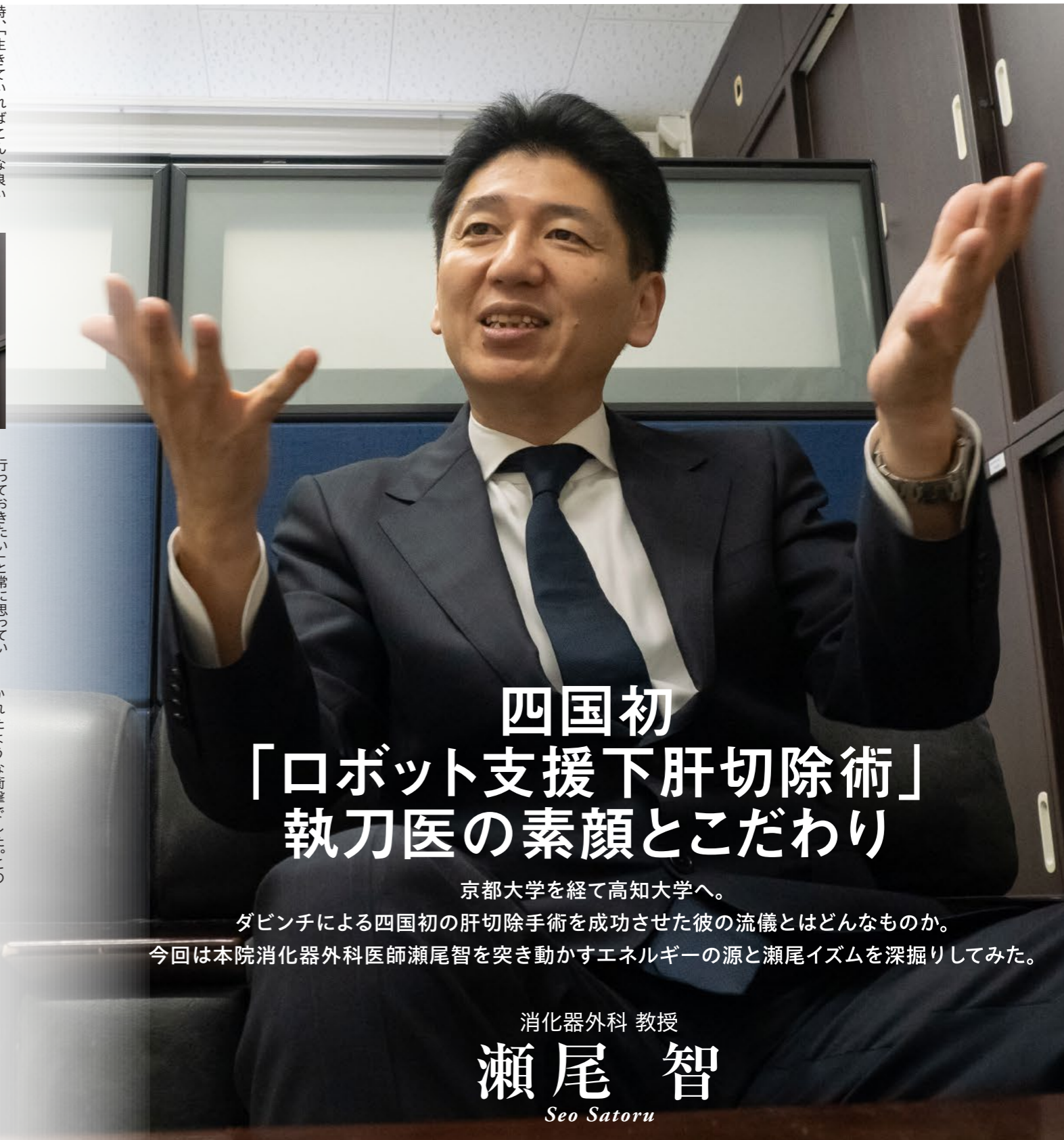
それは高知ことば。地元の人
といかに意思の疎通が図れるか
ということ。僕は関西で生
まれ関西で医師をしてきました
が、同じ関西でも京都と僕の故
郷兵庫では言葉が違うので、微
妙に患者さんとのコミュニケー
ションにズレがあるのです。京大
で医師を20年やり、やっと京都
の人の言っている意味がわかり
だしたところで、ここ高知へやっ
てきて、なんとまた振り出しに
戻ったわけです。

僕は、外科医は体にメスを入
れるのでほかの科の先生以上に
コミュニケーションが重要だと
思っています。患者さんの言葉の
真意を受けとめ、医師と患者さ
んがお互いにしっかりと理解し
合せて手術に臨まない。です。か
ら外科医こそ理系ではなく文系
であるべきだと思いますし、数学
より国語が得意な人の方が外科
医に向いていると感じますよ。こ
れからもっともつと方言を勉強
して、高知人になろうと努力し
ているところです。

ところで

ラグビーやギターなど
多趣味でられますが、
これらが医師の仕事に非常に
影響していると仰っていますね。

患者さんに「元気がなれば良
いことがあるの？」と問われた



四国初 「ロボット支援下肝切除術」 執刀医の素顔とこだわり

京都大学を経て高知大学へ。
ダビンチによる四国初の肝切除手術を成功させた彼の流儀とはどんなものか。
今回は本院消化器外科医師瀬尾智を突き動かすエネルギーの源と瀬尾イズムを深掘りしてみた。

消化器外科 教授
瀬尾 智
Seo Satoru

時、「生きていればこんな良い
ことがたくさんあるよ」と自信
を持って答えられる人間であり
たいのです。

僕は外科手術もするしロック
バンドで楽器も弾く。お酒もた
しなむし吉本新喜劇にも足を運
びます。医師 本という先生もい
て、それも医師のあるべき姿の
一つだと思いますが、自分にとって
医師は僕を構成するものの一部
で、僕の中には医師以外の自分
がたくさんいるのです。人から
「医師っぽくない」と言われれば
それが最大の褒め言葉、「医師っ
ぽい」はまだまだ修業が足りん
ということなんですよ(笑)。も
ちろん医師としてプライドを
持つて手術していますが、どこ
を切っても金太郎飴というのは
僕の考える外科医像とは違うも
のです。



日常生活でのこだわりや
ルーティンにしていることは
ありますか。

ええ、あります。僕は大学時
代にラグビーをしていて、医師
と同時にラグーマンでもありま
す。ラグーマンは試合の日、会場
までネクタイに革靴着用で行
き、会場に着いてからジャージ
に着替えます。僕にとつての試
合会場は病院ですから、手術の
日は30年間欠かさずネクタイ
に革靴で出勤します。病院に着
いて、もの5分で着替えます
から、後輩たちからは「先生な
ぜネクタイ締めて来るんです
か」と問われます。「今日は勝負
の日だから」と。これが僕のい
ちばんのこだわりです。
それから、ラグビー同様に「今
日が昨日より1ミリでも前に

行っておきたい」と常に思ってい
ます。そこにはこだわりがあっ
て、何かの達成のために今日5
ミリ進めるのを3ミリに留めて
2ミリ後へ残すようなことはし
たくないのです。僕は阪神ファン
なので、阪神が12点取った日は、
明日に4点くらい置いといてよ
なんて思いますが、やっぱり12
点取れる日はそうでなきゃなら
ないんです。

瀬尾智流の人生を
楽しく生きるコツとは。

それは毎日、よく笑うこと！
笑えない日だって笑う。それに
は理由があります。医者になっ
て間もなく、福井県の日赤に勤
務していた時、初めて進行性食
道がん患者さんを担当しまし
た。同室に、同じく僕の患者さん
で胆嚢摘出手術を受けた方が入
院しており、経過も良く無事退
院となりました。退院の日「良
かったですね」と笑いながら見
送った後、食道がんの患者さん
のベッドに行き、翌日の検査内
容などの説明をしました。説明
を終えた戻り際、患者さんに呼
び止められ「先生って笑うんや
ね、隣の人と笑っていたように、
私にも笑ってほしいな」と。時代
性もあり、がんの告知もしてお
らず、僕自身気持ちに余裕がな
かったのです。ハンマーで頭を叩

かれたような衝撃でした。この
時からどんな時でも笑おうと決
めたのです。

ですから、病気が治りました
ら、退院の喜びプラスアルファを
持つて帰っていただきたいなあ。
それが外科医としての僕の理想
であるし、そこまでできれば、高
知のブラックジャックも夢では
ないかもしれないですね。



「さてここからは、本院でのダビンチ手術について伺います。まずダビンチで行う肝切除手術のメリットなどを教えてください。」

京都大学に勤務していた時、世の中に先んじて2006年から腹腔鏡肝切除手術を始めたんですが、当時、肝臓は大出血する可能性もあり、手術が難しい臓器のため、上の先生から腹腔鏡手術は危険だからと止められていたんです。ただ、すでに胃や腸は腹腔鏡手術が当たり前になっていたわけ。

この手術は、いわゆる棒状のマジックハンドを使いますが、肝臓は胃腸と違い助骨の奥にあるため、鉗子と切るラインの角度が合わないんです。ですから、関節機能を持つダビンチを見た時「これはすごい！」と期待に胸を躍らせた。

いよいよ2022年4月から保険適用となり、2023年4月からは本院でも所定の手続きを終了し、開始できるようにになったのです。ダビンチによる肝切除手術は日本でもまだまだ少なく、四国初となる本院での手術一例目を終えた時は、期待が確信に変わった瞬間でした。

本院では4名の患者さんがこの手術を受けられ、4名全員が元気に退院されています。円滑安全に10人の手術を経るとプロクター（指導医）の資格が



与えられますから、早々に資格を取り、ほかの先生方にも広めていきたいと思っています。

「根治を諦めない」をモットーとされていますね。

はい、治療を諦める時というのは総じて「危ない」からです。手術をバスの運行に例えると、安全運転をしたいなら高速道路に乗らないのが一番良いのは分かっていますが、乗らなければ間に合わない事実も多い。大規模病院から幅多けんみん病院まで2時間半で行つてと言われるのも一般道では無理。僕はその時に「高速道路に乗るぞ！」という運転手でありたいんです。しかし自分だけがやる気になってもダメで、僕と患者さんやそのご家族の高知ことがばがしっかりと噛み合った時「先生の

言っていることは分かった。よしそれで行つてくれ！」となる。

同時に、科のスタッフ、内科医師、看護師、ソーシャルワーカーまで「やるぞ！」と一つになった時初めて「絶対に根治を諦めない」と言えるのです。僕はいつもその覚悟で手術に臨んでいます。

「働き方改革」による時短の壁をどう乗り越えていくか？

「ダビンチを使った肝切除手術の世界は、これからどんな広がりを見せていくと思われませんか？」

2024年4月から「医師の働き方改革」が運用開始となり、これまで使われてきたメソッドが使えなくなりました。ですから来年から、時短という壁をクリアできる強力なプログラムが必

要になりました。僕はこれまで17年間で約300例の腹腔鏡手術の経験をしています。その経験をそのまま後輩医師たちに渡すことができれば、17年間の時短になりますが、それは簡単なことではありません。それでも、切磋琢磨しながらさまざまな障害を乗り越えていくことでさらにプロフェッショナルに近づいていくと信じているんです。

「最後に、本院に入院されている患者さん方にメッセージをください。」

「病気になるたのは災難だったが、高知に生まれたのはラッキーだった」と全ての患者さんに言ってもらえる高知大学にしたいですね。

「病気になるたのは災難だったが、高知に生まれたのはラッキーだった」と全ての患者さんに言ってもらえる高知大学にしたい。



Episode

僕には、98年の生涯を茶道に費やした祖父がいたんですが、幼い頃から言われ続けた言葉があります。

それは「プライドは高く持ちなさい。そのプライドに見合った人間になるために一生努力しなさい」です。祖父の茶道に対し、僕は外科道です。時には「もう少しできたのではないか」と考えることもありますが、1ミリでも前へ進み続けていたいですよね。

- 【経歴】
- 1996年 福井医科大学医学部 医学科 卒業
 - 2008年 京都大学大学院(博士課程) 修了、博士(医学)取得(京都大学)
 - 1996年 京都大学医学部附属病院 外科 研修医
 - 1997年 福井赤十字病院 外科 医員
 - 2000年 大阪赤十字病院 外科 医員
 - 2008年 三菱京都病院 消化器外科 医長
 - 2012年 京都大学医学部附属病院 肝胆膵・移植外科 医員
 - 2012年 同 助教
 - 2020年 同 講師
 - 2022年 同 准教授、京都桂病院 消化器センター・外科 部長
 - 2023年 高知大学医学部 外科学講座 教授
 - 現在に至る

先生は今年5月にプロクター認定を受けましたが、認定を受けるまでの道のりを教えてください。

まず、ロボットの操作に慣れるために、シミュレーターを使った練習を行いました。シミュレーターには採点機能が付いているのですが、各課題の目標を90点以上と設定し、夜間や土日休日を利用して練習を重ねました(コソ練)。

2021年10月と11月に岡山大学病院に手術を見学に行きました。最初は個人で、2回目は医師と看護師のチームで見学に行き、手技だけではなくセッティングも含めて丁寧に教えていただきました。また、当院で初回症例を行うにあたり、指導に来ていただく日程調整や、院内での倫理委員会申請、ロボット手術委員会への申請も行い、12月には東京で動物を用いた実機トレーニングを行いました。

これらの準備を経て、2022年1月から当院で手術を実施し、2022年11月までに20例を実施し、プロクター認定を受けました。その後も、順調に症例数を伸ばし、2023年8月末時点で、40例を実施しています。

プロクター認定後のご自身に変化はありましたか。

たとえば、ロボット手術は多関節機能や三次元画像などの利点を活かして手術を行います。それは、まず、先に述べた触覚の欠如などの欠点を理解する必要があります。

今回、私自身がプロクター資格を取得したことで、これらの特徴を若手外科医にわかりやすく説明し、手術を進めるようにしています。同時に自分自身にもより正確な手術が行えているように感じています。

プロクターの立場から、ロボット手術の今後の展望や課題についてお聞かせください。

ロボットによる手術は機械であるがゆえに、次々とバージョンアップすることが期待されます。もしかしたら、3年後には全く違う手術をしているかもしれせん。ロボット手術は従来の外科手術の進歩とは全く異なる時間の流れになる可能性があり、我々もキャッチアップできるように日々研鑽に努めたいと思っています。

四国初のロボット支援手術【食道領域】 認定プロクターとしての役割に挑む!

ロボット支援手術は、消化器癌を含め多くの外科手術に応用されているが、内視鏡下の手術野で特殊な器具を用いて行う手術であり、高度な技術が要求される。今回は、四国初となる食道領域のプロクターに認定された、本院手術部講師の北川博之医師に話を聞いた。



ロボット支援手術プロクター認定制度は、術者として標準的な技量を取得し、他者によるロボット支援手術を円滑且つ安全に指導できる(プロクターリング)指導者(プロクター)を認定するものです。



消化器外科/手術部講師
(病院准教授)

北川 博之
Kitagawa Hiroyuki